

令和 8 年 度

公示用

点 検 業 務 委 託 設 計 書

業務名 交通局所管施設外壁タイル点検業務

交通局所管施設外壁タイル点検業務 仕様書

札幌市交通局高速電車部施設課

1 業務場所

別紙 2 「令和 8 年度点検対象施設」 参照

2 履行期間

契約書に示す着手の日から令和 9 年 2 月 12 日まで

3 総委託料

金

円也

業務委託料

金

円也

取引に係る消費税および
地方消費税の額

金

円也

4 業務人・日数

(20 人)

注 1) 業務人・日は委託料を算定するための参考数量であり、契約上の業務人・日を規定するものではありません。

注 2) 業務人・日は技師 C を基準とし対象外業務率を乗じて算定しています。
(仕様書に規定する業務遂行に要する全ての人件費相当分を含みます。)

注 3) 外壁打診調査に係る経費については上記業務人・日数と別途に加算しております。

5 業務仕様

(1) 業務内容

本業務は、別紙 2 「令和 8 年度点検対象施設」(以下 対象施設)について、壁タイル面の機能保全・予防保全及び良好な環境の維持を図るため、全面点検を行うものである。点検の実施にあたっては、建築基準法第 12 条第 2 項に基づく定期点検に準じることとし、その対象は、歩行者等に危害を加えるおそれのある壁タイルとする。

(2) 従事者の資格

従事者は、一級建築士もしくは二級建築士又は特定建築物調査員資格者証を有する者とする。

(3) 調査方法・判定基準

調査方法及び判定基準は、国土交通省告示第 282 号(建築物の定期調査報告にお

ける調査及び定期点検における点検の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を定める件)によるものとするが、テストハンマーによる打診等の検査は、手の届く範囲（G L + 3 m）を調査対象とし、発注者との協議により、赤外線による調査に代えることができるものとする。

また、その他の範囲は目視により、確認する。

(4) 関係法令等

- ア 建築基準法
- イ 消防法
- ウ 労働基準法
- エ 労働安全衛生法
- オ 鉄道法
- カ 鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準
- キ その他の関連法規類、併せて発注者の指示による。

(5) 貸与関係

ア 図面・資料

本業務の遂行にあたり、点検対象施設のしゅん功図面及びその他既存の必要な資料を貸与する。貸与した図面及び資料等は、受託者の責任において、適切に管理及び整理し返却するものとする。

イ 駅構内作業員腕章

駅構内で作業を行う場合には、「高速電車駅構内入場許可取扱要領」に基づき、発注者より貸与する「駅構内作業員腕章」を必ず着用して作業するものとし、管理及び使用に当たっては十分注意し、他者への転貸を禁止するものとし、業務完了後には速やかに返却するものとする。万が一紛失した場合は、速やかに発注者に報告し、指示に従うものとする。

(6) 安全対策

ア 受託者は、本市の鉄道事業における輸送の安全を確保するために安全第一の意識を持って、輸送の安全を確保するために社内体制を整備し、業務従事者にはこれを徹底すること。

イ 受託者は、発注者の輸送事業に係る安全管理体制に積極的に協力をするとともに、輸送の安全を確保するため、発注者との密接な連携を図ること。

ウ 服装は安全性、作業性を考慮した点検作業に適したものとする。

(7) 応急処置等

ア 本業務の遂行において、業務対象部分に脱落、落下、漏水、損傷、異音又は転落の恐れがある場合、継続使用することにより著しい損傷又は関連する部材・機器等に影響を及ぼすことが想定される場合、及び乗客、他施設・設備等の周囲に影響を与える場合については、応急措置を講じるとともに、速やかに発注者に報告した上で、修繕方法について協議すること。

イ 落下、飛散等の恐れがあるものは、その区域を立入禁止にする等の危険防止措置を講じるとともに、直ちに発注者に報告すること。

ウ 実施した応急処置等については、内容、使用資材及び処置等の詳細を書面にて

報告すること。

エ 本業務の遂行中に、発生した事故等には速やかに対応し、発注者に報告すること。また、業務対象施設内にて発生した事故等に遭遇した場合も同様とする。

6 提出書類

(1) 業務着手時に提出するもの

- ア 業務着手届
- イ 主任技術者等指定通知書
主任技術者経歴書及び資格証明書類を添付すること。
- ウ 業務日程表
- エ 業務計画書
- オ 緊急連絡先系統
- カ 労働災害保険関係の成立を証するもの

(2) 業務完了後に提出するもの

業務完了後は、速やかに下記の書類を提出することとし、イについては、報告書一式を2部、電子データを電子媒体（CD-R等）に収めたものを1部提出すること。なお、電子媒体については、札幌市「電子納品に関する手引き【営繕業務編】」に基づいて作成するものとし、詳細は発注者と協議した上で提出すること。

- ア 業務完了届
- イ 点検結果報告書一式
点検リスト・調書、調査結果一覧表、調査結果プロット図、危険度判定一覧表、改修工法及び概算工事費一覧表、作業写真、点検日誌等を提出すること。

(3) その他の提出書類

- ア 日報・月報（月初に提出する）

7 業務の検査等

(1) 検査

受託者は、業務完了後、委託者が指定する検査員の検査を受けるものとする。

(2) 支払い

受託者は、上記の検査に合格したときは契約書に基づく支払いについて請求することができるものとする。

8 著作権等の取扱

(1) 受託者は、成果品に用いられた著作物に関連する著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は、発注者に譲渡するものとする。

(2) 受託者は、成果品に用いられた著作物に関する著作人格権を、発注者及び発注者が指定する第三者に行使しないものとする。

- (3) 受託者は、成果品を製作するにあたり、第三者の著作権等の知的財産権を侵害しないことを保証するとともに、成果品の利用について第三者との権利侵害等の紛争が生じたときは、請負人の責において解決するものとする。

9 その他

- (1) 作業中、受託者の不注意により生じた事故及び損害等の負担については、すべて受託者の責任において処理するものとする。
- (2) 作業時の安全確保はもとより、全ての人や施設に危害・損害を与えないよう、安全対策に万全を期すこと。
- (3) 作業時間は、原則平日の9時から17時までとすること。ただし、第3者の安全確保等により日中作業が難しいと判断する作業は、夜間作業とする。その場合の作業時間は、平日夜間の24時45分から5時までとすること。
- (4) 本仕様書の内容等に疑義が生じた場合、発注者の指示を受けること。

10 札幌市環境マネジメントシステムの運用協力

受託者は、作業に従事する者に本市「環境方針」を周知させ、環境配慮に対する取り組みについて理解させるとともに、本市環境マネジメントシステムに適合するよう業務を遂行すること。

11 法令順守（コンプライアンス）の徹底

受託業務の実施にあたっては、法令違反または不適切行為を防止するため、法令及び作業ルール等の遵守を徹底すること。

業 務 着 手 届

令和 年 月 日

札幌市交通事業管理者
交通局長 ○○ ○○

(住所)
受託者
(氏名)

下記業務は令和 年 月 日着手したのでお届けします。

記

1 業務番号 () 第 号

2 業 務 名

- ・ 提出部数 2 部
- ・ 提出先 監督員
- ・ 提出期限 着手日と同日
- ・ 主任技術者等指定通知書、業務工程表等を添付して提出するときは、各頁間に使用印で割印すること。

労働保険番号 ○○○○○○○○○○○○○○

主任技術者等指定通知書

主任技術者等指定通知書

令和 年 月 日

札幌市交通事業管理者
交通局長 ○○ ○○

(住所)
受託者
(氏名)
TEL

業 務 番 号	業 務 名	
上記業務に係る主任技術者等を次のとおり定めた別紙経歴書を添えて通知します。		
区 分	氏 名	備 考

- ・ 「区分」欄には、業務内容が、測量・地質調査の場合は「主任技術者」と、設計の場合は「主任設計者」及び「照査技術者」と、工事監理の場合は「主任監理者」と、それぞれ記載すること。
- ・ 共同企業体の場合は、各技術者等の所属会社名を「備考」欄に記載すること。
- ・ 技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類（健康保険証の写し等）を添付すること。

技術者経歴書

主任技術者 経歴書				
現住所				
氏名		生年月日	※大正 昭和	
最終学歴	卒業年月	学校名	専攻学科	
	※昭和 平成 年 月			
職歴	※昭和 平成 年 月	入社(年 月退職)		
	※昭和 平成 年 月	入社		
技術資格	※昭和 平成 年 月		取得No.	
	※昭和 平成 年 月		取得No.	
主要業務経歴	業務名		受託金額(千円)	履行期間
	直前1年分			年 月 年 月
				年 月 年 月
	直前2年分			年 月 年 月
			年 月 年 月	
上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 氏 名				

注1) ※印の項目については、該当するものを○で囲むこと。

注2) 最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校のいずれかを記載し、専修学校、各種学校等は記載しないこと。

業 務 日 程 表

令和 年 月 日

札幌市交通事業管理者

交通局長 ○○ ○○

(住 所)

受託者

(氏 名)

下記業務について、別紙日程をもって施行したいので、承認して下さるようお願い
します。

記

1 業務番号 () 第 一 号

2 業務 名

着 手 令和 年 月 日

3 履行期間

完 了 令和 年 月 日

- ・ 提出部数 2 部
- ・ 提出 先 担当職員

令和 年 月 日

業 務 計 画 書

札幌市交通事業管理者
交通局長

(住所)
受託者
(氏名)

下記の業務について、業務計画書を提出しますので、承認くださるようお願いいたします。

記

- 1 業務番号 () 第 号
業 務 名
- 2 提出書類
 - (1) 業務一般事項
 - (2) 業務工程計画
 - (3) 業務体制届出書
 - (4) 業務方針

業 務 完 了 届

令和 年 月 日

札幌市交通事業管理者
交通局長 ○○ ○○

(住所)
受託者
(氏名)

下記業務は令和 年 月 日完了したのでお届けします。

記

1 業務番号 () 第 一 号

2 業 務 名

- ・ 提出部数 2 部
- ・ 提 出 先 監督員
- ・ 提出期限は完了日と同日。ただし、完了日が休日の場合は翌日（翌日も休日の場合は順延）に提出すること（受理日に受付する。）。

令和8年度点検対象施設

別紙2

No.	線	建築物の名称	タイル面積㎡ (GL+3m)	タイル面積㎡ (全面積)	備考
1	南北線	すすきの駅4番出入口＋換気塔	38.3	57.9	大型セラミックタイル
2	東西線	宮の沢駅換気塔A(3番出入口併設)	34.3	112.0	
3	東西線	宮の沢駅中間換気塔A(独立)	34.0	63.5	
4	東西線	発寒南駅換気塔B(2番出入口併設)	29.8	72.6	
5	東西線	西18丁目駅4番出入口＋EV出入口	110.0	152.0	
6	東西線	西11丁目駅1番出入口＋EV出入口	42.0	42.0	
7	東豊線	環状通東駅換気塔A(1番出入口併設)	61.8	111.0	
8	東豊線	環状通東駅換気塔B(4番出入口併設)	52.2	95.6	
9	東豊線	東区役所前駅換気塔A(1番出入口併設)	50.1	82.4	
10	東豊線	学園前駅換気塔A	36.6	91.7	
11	東豊線	豊平公園駅換気塔A	52.3	100.0	
12	東豊線	豊平公園駅換気塔B	64.7	116.9	
13	東豊線	美園駅換気塔A	59.4	93.5	
14	東豊線	美園駅換気塔B	43.8	64.8	
15	東豊線	美園駅換気塔C	13.4	41.1	
16	東豊線	福住駅換気塔A(1番出入口併設)	12.5	15.0	
	計		735.2	1311.9	

※ 打診等の検査は、手の届く範囲（GL+3m）を調査範囲とする。

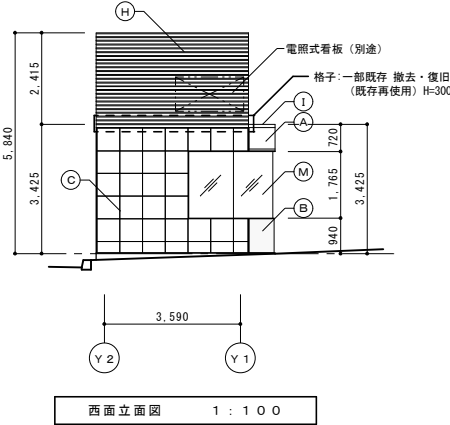
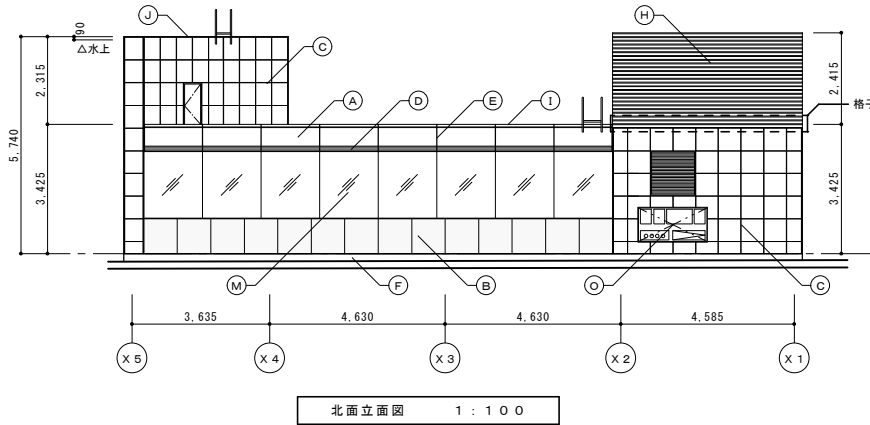
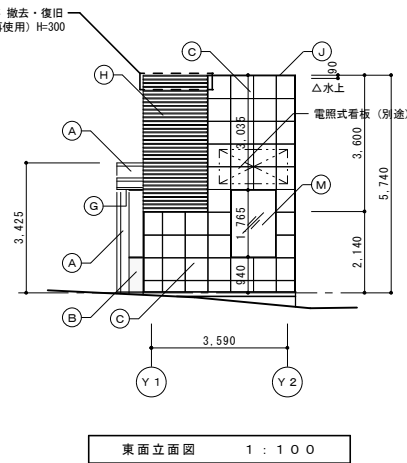
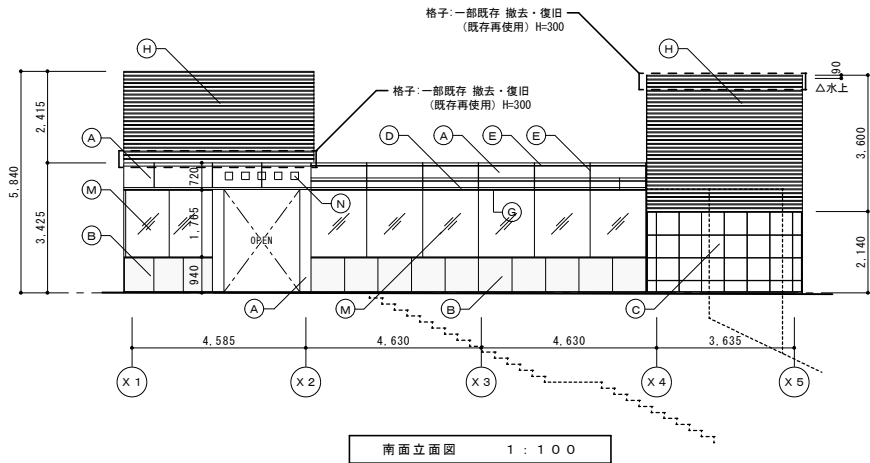
その他の範囲は、目視により確認する。

設計業務委託料等内訳書

業務名 交通局所管施設外壁タイル点検業務

(令和8年度 設計業務委託等技術者単価適用)

設 計 総 括 表					
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
実施設計					
直接人件費	式	1			
諸経費	式	1			
技術料等経費	式	1			
特別経費	式	1			
小計					
計					
業務価格	式	1			
消費税等相当額	式	1			
委託料	式	1			



外部改修概要

記号	部位	既存仕様	改修内容
(A)	外壁1	ステンレス フッ素樹脂塗装	既存清掃
(B)	外壁2	結晶化ガラス貼	既存清掃、既存シーリング目地 (5×5) 撤去・新設
(C)	外壁3	t60 中空押出成型セメント板下地 大判タイル貼 (石目調) 弾性接着剤貼	既存清掃、既存シーリング目地 (5×5) 撤去・新設
(D)	外壁4	カラスステンレス (W60)	既存清掃
(E)	外壁目地	シーリング目地 15×10	既存シーリング目地 撤去・新設
(F)	基礎	御影石	既存清掃
(G)	軒天	ステンレス フッ素樹脂塗装	既存清掃
(H)	7&M&P	アルミ角パイプ 25角 (電解着色)	既存清掃 一部既存 撤去・復旧 (既存再使用) H=300

記号	部位	既存仕様	改修内容
(I)	笠木・水切	ステンレス フッ素樹脂塗装	既存 撤去・復旧 (既存再使用、取付下地は新設) 既存シーリング 撤去・新設
(J)	笠木	ステンレス F B 防水笠木 (W100・200二段)	既存 撤去、アルミ製笠木 (B-2種、W300) 新設 (下地共)
(K)	屋上	t2.0 シート防水 (溶融亜鉛メッキ鋼板 +ルーフヒーティング (別途) +t30 木毛セメント板 +母屋 0-100×50×20×2.3@600)	既存防水層 清掃の上、ウレタン系塗膜防水新設 (立上り・天端共)
(L)	庇	ステンレス フッ素樹脂塗装 (種:t1.5 ステンレス)	既存清掃、既存シーリング目地 撤去・新設
(M)	サッシ	ガラススクリーン	既存シーリング 撤去・新設 (内外部共) 既存ガラス清掃 (両面)
(N)	駅名文字	箱文字 ステンレス製 200×200×5文字	既存清掃
(O)	連絡送水口	ステンレス製 1,800×900	既存シーリング (四方) 撤去・新設 既存清掃

内部改修概要

記号	部位	既存仕様	改修内容
(P)	天井 (階段室)	アルミスバンドレール 焼付塗装	既存清掃

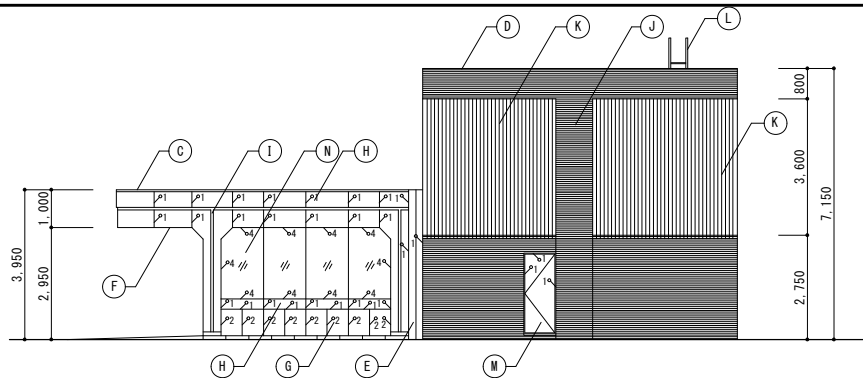
REVISION

TITLE

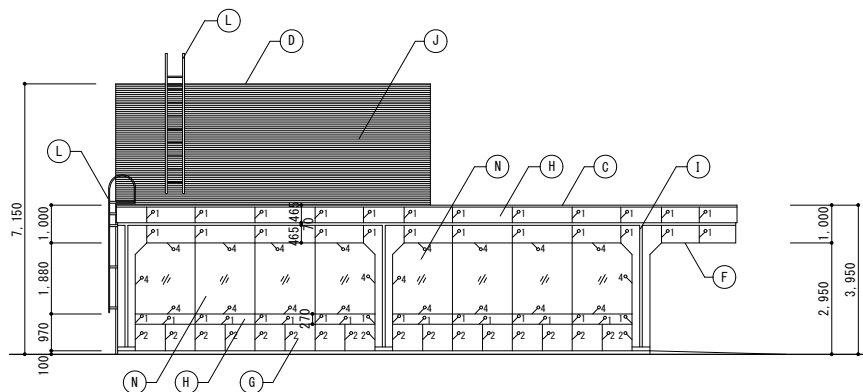
POSITION

すすきの
立面図

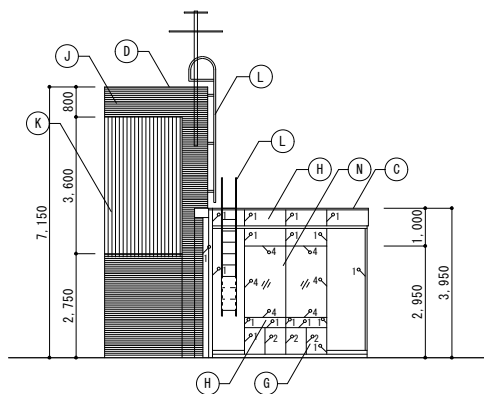
すすきの駅4番出入口+換気塔



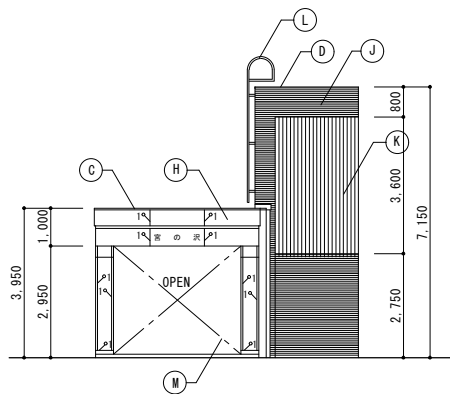
北東側立面図 1/100



南西側立面図 1/100



北西側立面図 1/100



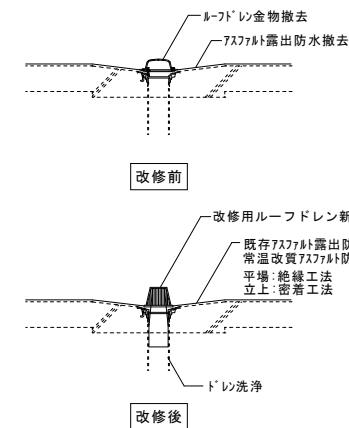
南東側立面図 1/100

改修概要

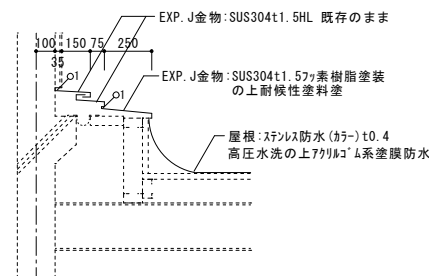
	改 修 前	改 修 後
A	屋根：ステン防水（カー）t0.4	屋根：高圧水洗の上アクリル系塗膜防水、ドレン洗浄
B	屋根：アスファルト防水（D-1）	屋根：既存防水層撤去、下地調整の上常温改質アスファルト防水、ドレン洗浄 平場：露出絶縁工法、立上：露出密着工法
C	笠木：ステン製既製笠木W250フ素樹脂塗装	笠木：下地調整の上耐候性塗装塗
D	笠木：7&M製既製笠木 D1=W550、D2=350	笠木：7&M製笠木取外し再取付・清掃
E	エクステンションジョイント金物：ステン製HL既製笠木W475	エクステンションジョイント金物：既存のまま
F	軒天井：7&M製ステンドレンt1.0張り	軒天井：下地調整の上耐候性塗装塗
G	腰壁：御影石本磨きt25	腰壁：御影石本磨きt25 水洗い
H	外壁：ステンst1.57フ素樹脂焼付塗装	外壁：下地調整の上耐候性塗料塗
I	外壁：カーステンst1.5BA	外壁：カーステンst1.5BA 既存のまま
J	外壁：二丁掛タイル	外壁：二丁掛タイル 既存のまま、一部補修
K	ガラス：耐候性鋼φ19 カゼコートガラス処理 ステン水切	ガラス：下地調整の上耐候性塗料塗
L	ドラップ：ステン製ドラップ	ドラップ：ステン製ドラップ 既存のまま
M	建具：スチール製片開きドア W950×H2,000	建具：スチール製片開きドア 下地調整の上耐候性塗料 表裏共 周囲シーリング新設
N	ガラス：内外部ガラス周囲シーリング撤去	ガラス：内外部ガラス周囲シーリング新設、外部のみガラス清掃

記号	種 類
1	MS-2（変成シリコン系シーリング）2成分形 15×10 撤去・新設
2	MS-2（変成シリコン系シーリング）2成分形 5×5 撤去・新設
3	MS-2（変成シリコン系シーリング）2成分形 20×15 撤去・新設
4	SR-1（シリコン系シーリング）1成分形 5×5 撤去・新設

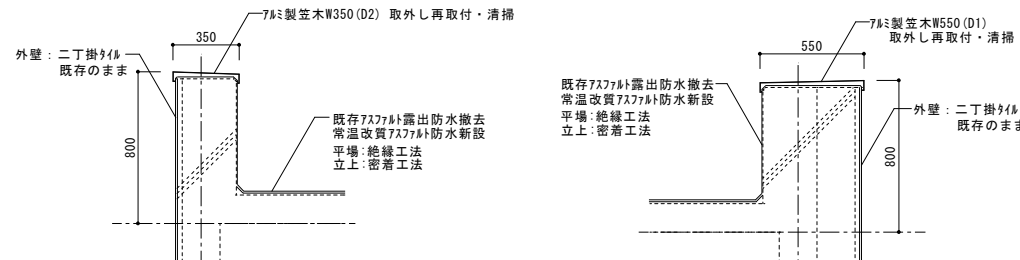
換気塔B屋上ルーフドレン廻り詳細図 1/20



出入口上屋・換気塔B EXP. J部詳細図（B部断面） 1/20



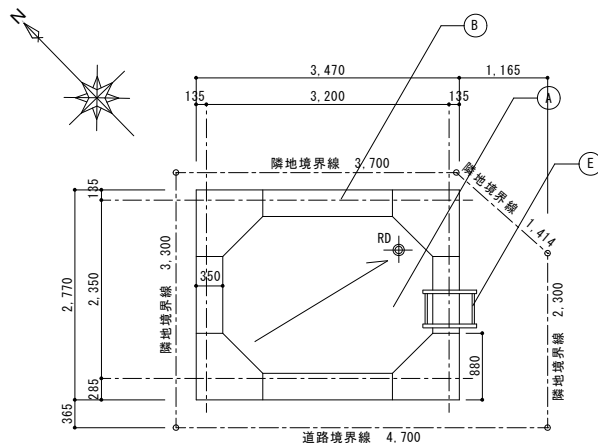
換気塔A屋上立上部詳細図（A-A断面） 1/20



訂正事項	年 月 日
1	・ ・ ・
2	・ ・ ・
3	・ ・ ・
4	・ ・ ・

校 関 担 当	製 図 工 事 名	縮 尺	製作年月日	図 面 番 号
		A2:1/100		

宮の沢駅換気塔A（3番出入口併設）



屋上平面図 1/50

改修概要

	改 修 前	改 修 後
A	屋根：アスファルト防水 (D-1)	屋根：既存防水層撤去、下地調整の上常温改質アスファルト防水、ドレン洗浄 平場：露出絶縁工法・立上：露出密着工法
B	笠木：7&M製既製笠木W350	笠木：7&M製笠木取外し再取付・清掃
C	外壁：二丁掛タイル	外壁：二丁掛タイル 既存のまま、一部補修
D	ｶﾞﾗﾘｰ：耐候性鋼φ19 ﾕｴﾞﾞｰｺｰﾄﾞﾚﾊﾞﾚﾝ処理 スﾃﾝﾚｽ水切	ｶﾞﾗﾘｰ：下地調整の上耐候性塗料塗
E	ｸﾗｯﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ製ｸﾗｯﾌﾟ	ｸﾗｯﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ製ｸﾗｯﾌﾟ 既存のまま
F	建具：ｽﾃｰﾙ製片開きﾄﾞｱ W950×H2,000 周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	建具：ｽﾃｰﾙ製片開きﾄﾞｱ 下地調整の上耐候性塗料 表裏共 周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 新設

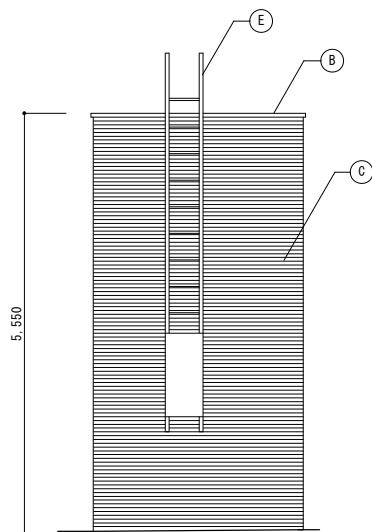
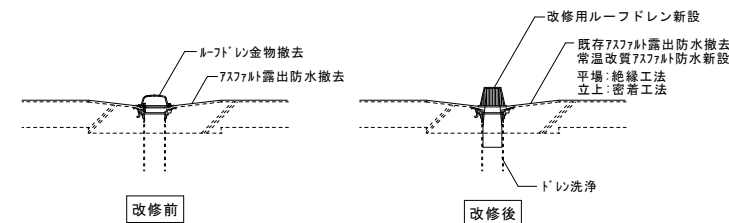
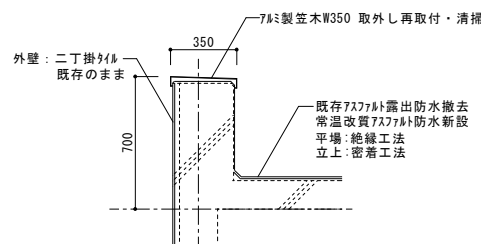
記号	種 類
1	MS-2(変成シリコン系シーリング) 2成分形 15×10 撤去・新設
2	MS-2(変成シリコン系シーリング) 2成分形 5×5 撤去・新設
3	MS-2(変成シリコン系シーリング) 2成分形 20×15 撤去・新設

屋上立上部詳細図

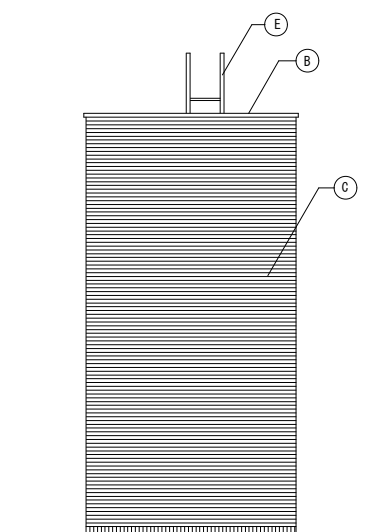
1/20

換気塔B屋上ﾙｰﾌﾞﾚﾝ廻り詳細図

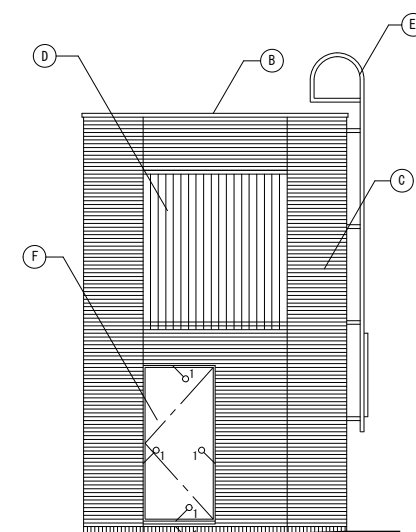
1/20



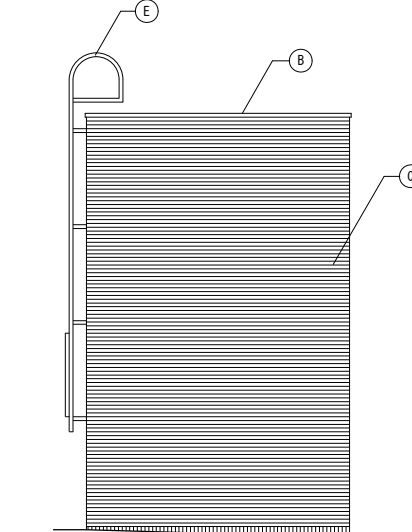
南東側立面図 1/50



北西側立面図 1/50



南西側立面図 1/50



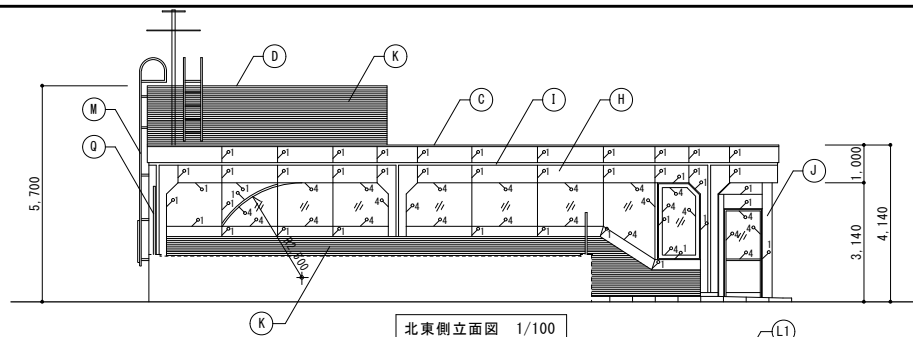
北東側立面図 1/50

訂正事項	年 月 日
1	・ ・ ・
2	・ ・ ・
3	・ ・ ・
4	・ ・ ・

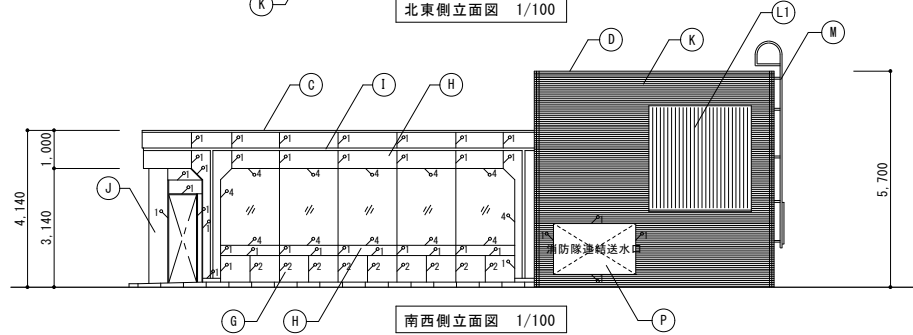
校 関	担 当	製 図	工 事 名

縮 尺	製作年月日	図 面 番 号
A2:1/50		

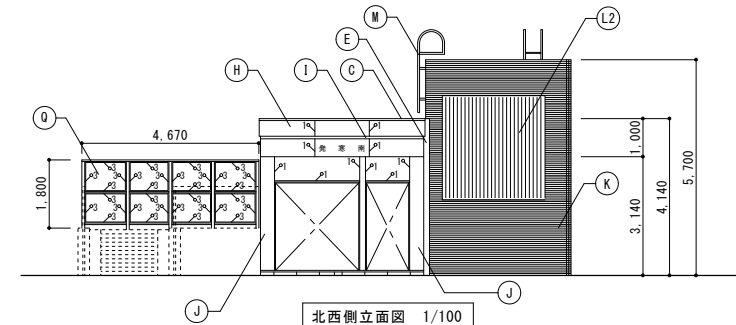
宮の沢駅中間換気塔A（独立）



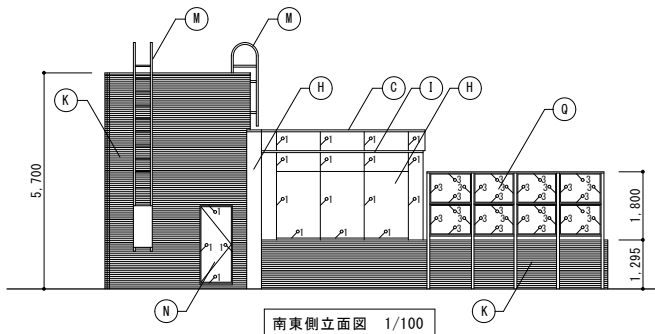
北東側立面図 1/100



北西側立面図 1/100



北側立面図 1/100



南東側立面図 1/100

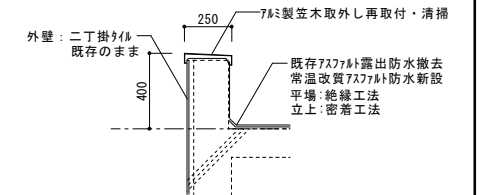
訂正事項	年月日
1	・ ・ ・
2	・ ・ ・
3	・ ・ ・
4	・ ・ ・

改修概要

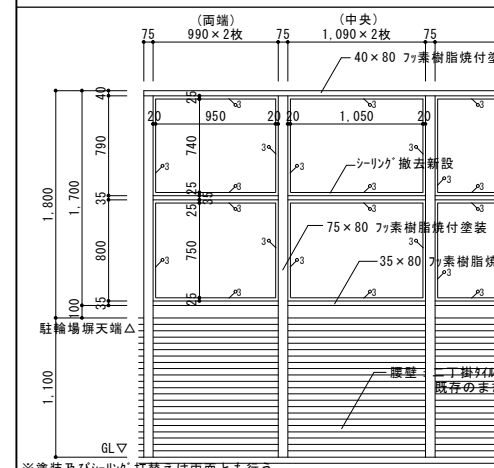
	改修前	改修後
A	屋根：ステンレス防水（カー）t0.4	屋根：高圧水洗の上アクリルゴム系塗膜防水、ドレン洗浄
B	屋根：アスファルト防水（D-1）	屋根：既存防水層撤去、下地調整の上常温改質アスファルト防水、ドレン洗浄 平場：露出絶縁工法、立上：露出密着工法
C	笠木：ステンレス製既製笠木W250フッ素樹脂塗装	笠木：下地調整の上耐候性塗装
D	笠木：7M製既製笠木W250	笠木：7M製笠木取外し再取付・清掃
E	エキステンションジョイント金物：ステンレス製既製W350フッ素樹脂塗装	エキステンションジョイント金物：下地調整の上耐候性塗装
F	軒天井：7M製「ドレン」t1.0張り	軒天井：既存のまま
G	腰壁：御影石本磨きt25	腰壁：御影石本磨きt25 水洗い
H	外壁：ステンレスt1.5フッ素樹脂焼付塗装	外壁：下地調整の上耐候性塗料
I	外壁：カーステンレスt1.5BA	外壁：カーステンレスt1.5BA 既存のまま
J	外壁：7M製「ドレン」t2.0	外壁：7M製「ドレン」t2.0 既存のまま
K	外壁：二丁掛タイル	外壁：二丁掛タイル 既存のまま、一部補修
L	ガラス：耐候性鋼の19「クサ」コート「レ」レン処理 ステンレス水切 L1:W2,680×H2,800、L2:W2,710×H2,800	ガラス：下地調整の上耐候性塗料
M	ドラップ：ステンレス製ドラップ	ドラップ：ステンレス製ドラップ 既存のまま
N	建具：スチール製片開きドア W950×H2,100 周囲シーリング撤去	建具：スチール製片開きドア 下地調整の上耐候性塗料 表裏共 周囲シーリング新設
O	ガラス：内外部ガラス周囲シーリング撤去	ガラス：内外部ガラス周囲シーリング、外部のみガラス清掃
P	連絡送水口 W2,110×H1,390	連絡送水口 既存のまま
Q	フェンス：ステンレス製H2,900 フッ素樹脂焼付塗装	フェンス：下地調整の上耐候性塗料

記号	種 類
1	MS-2（変成シリコン系シーリング2成分形） 15×10 撤去・新設
2	MS-2（変成シリコン系シーリング2成分形） 5×5 撤去・新設
3	MS-2（変成シリコン系シーリング2成分形） 20×15 撤去・新設
4	SR-1（シリコン系シーリング1成分形） 5×5 撤去・新設

換気塔B屋上立上詳細図 1/20

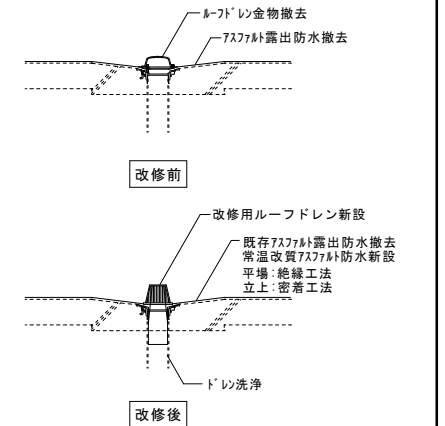


外構フェンス詳細立面図 1/30



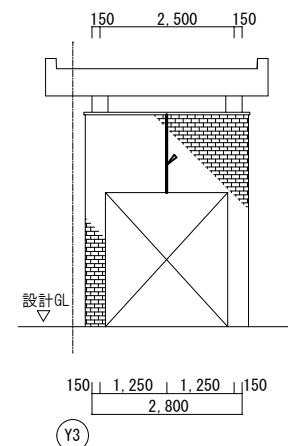
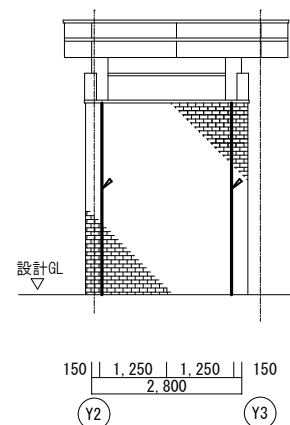
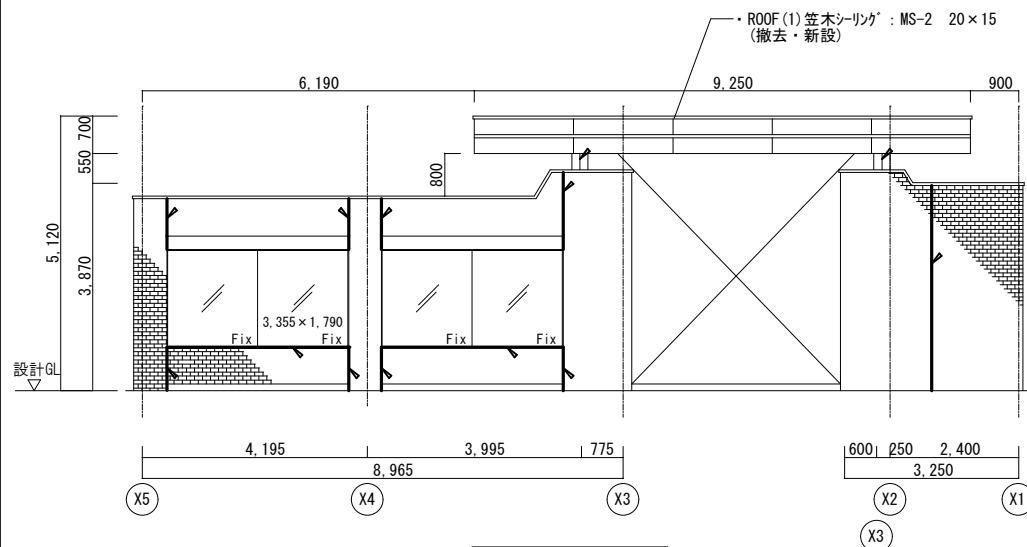
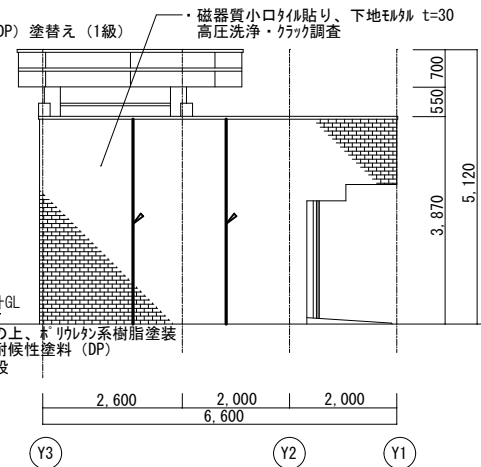
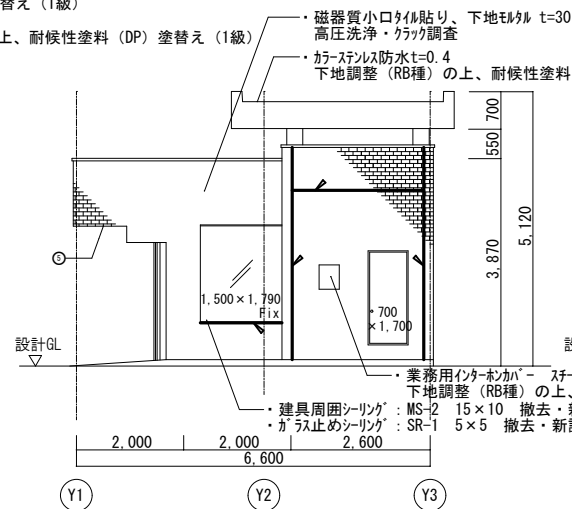
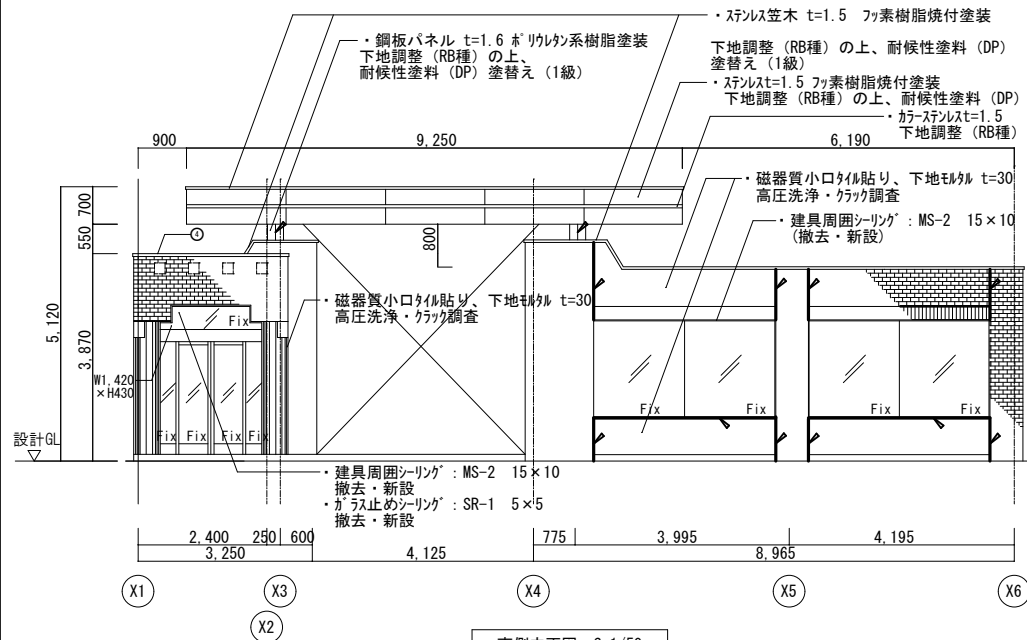
※塗装及びシーリング打替えは両面とも行う

換気塔B屋上ルーフドレン廻り詳細図 1/20



校 閤 担 当	製 図 工 事 名	縮 尺	製作年月日	図 面 番 号
		A2:1/100 A2:1/20		

発寒南駅換気塔B（2番出入口併設）

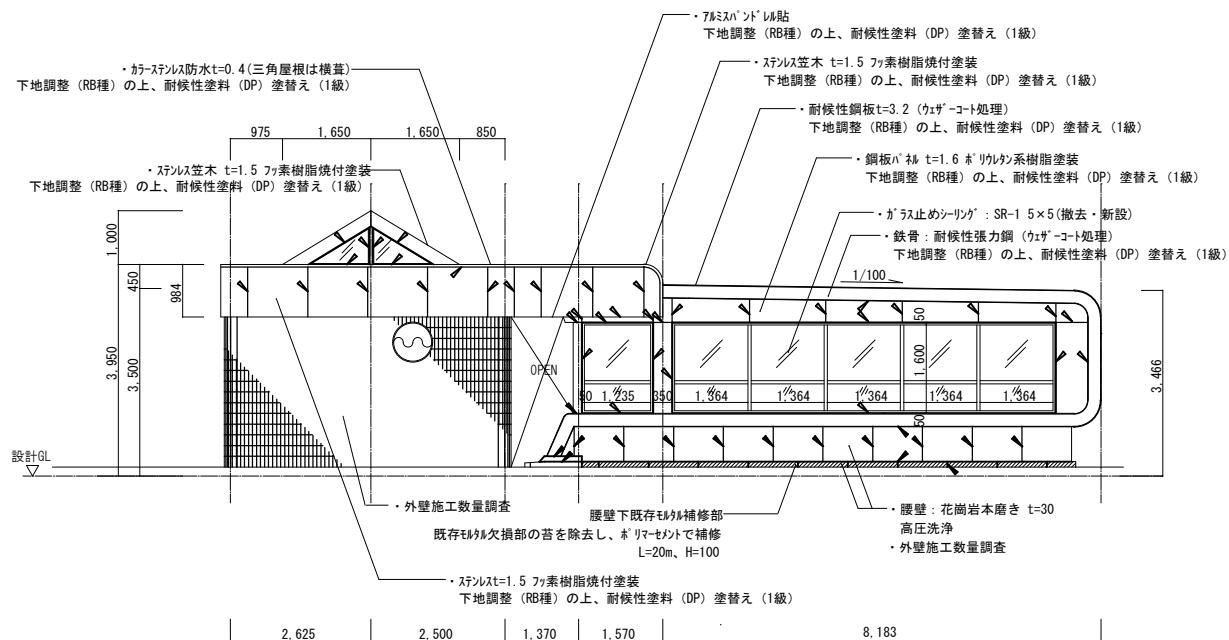


シーリング (MS-2) 15×10 撤去・新設

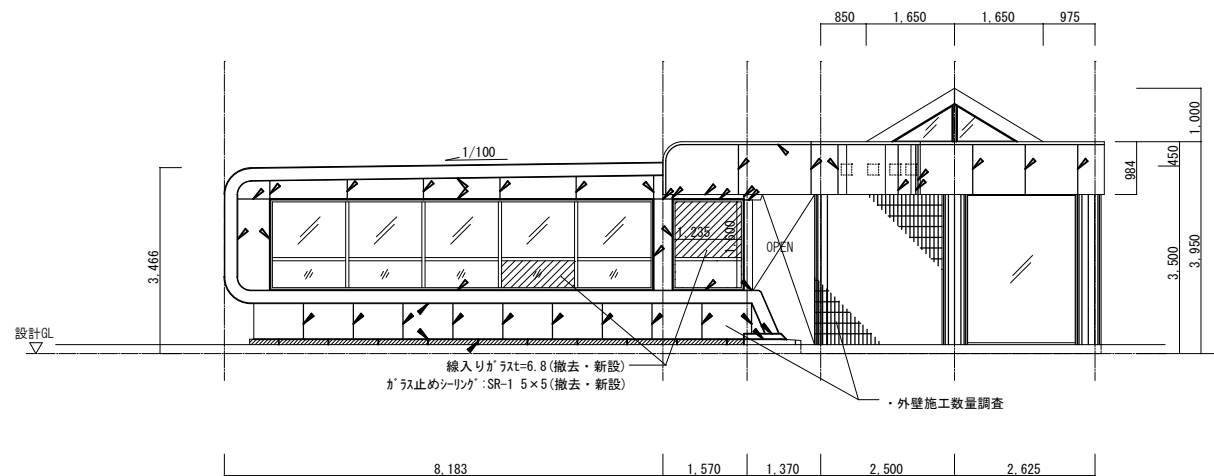
主任設計者	主任技術者	担当者	作成年月日
			令和 2 年 1 月

工事名

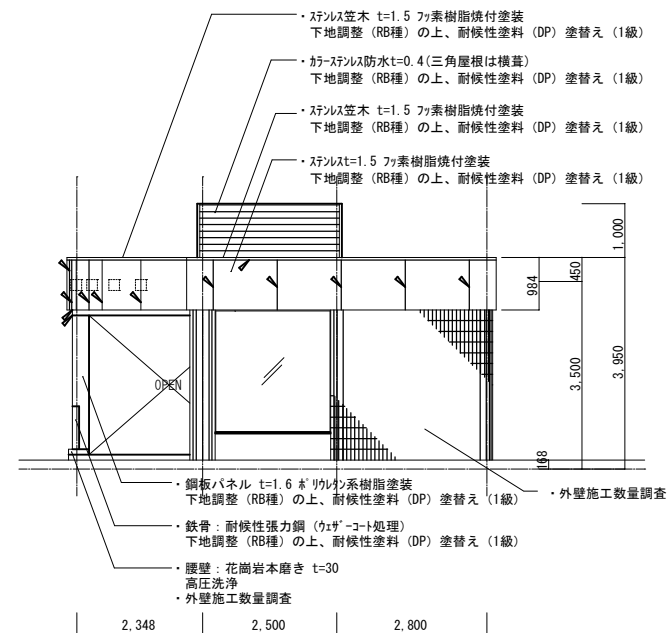
西18丁目駅4番出入口+EV出入口



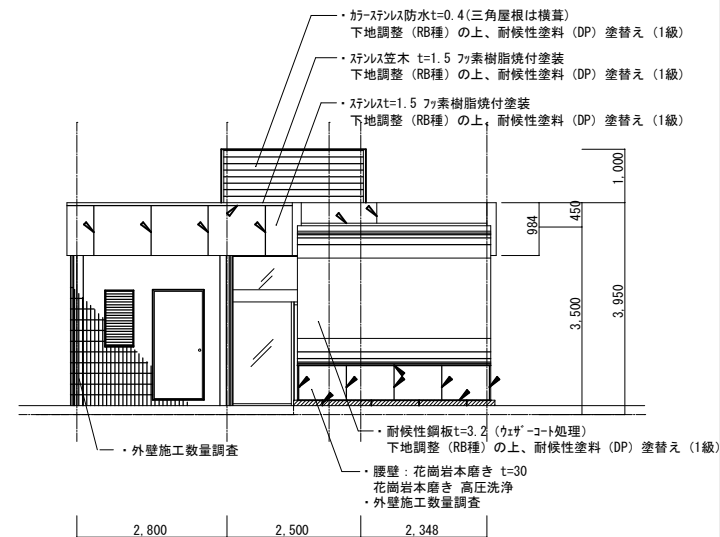
北面立面図 S: 1/50



南面立面図 S: 1/50



東側立面図 S: 1/50

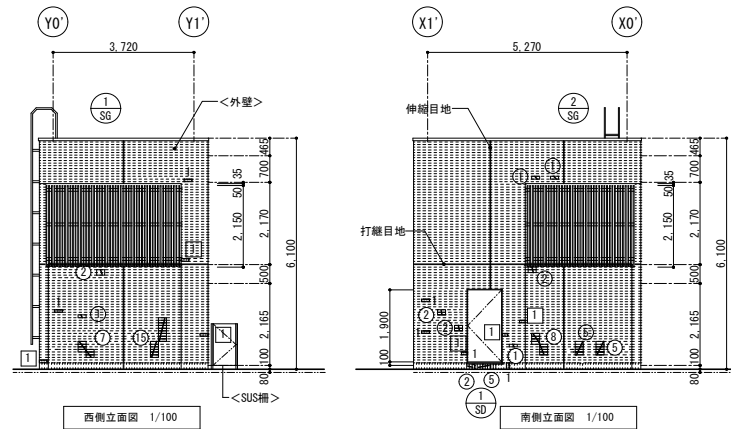
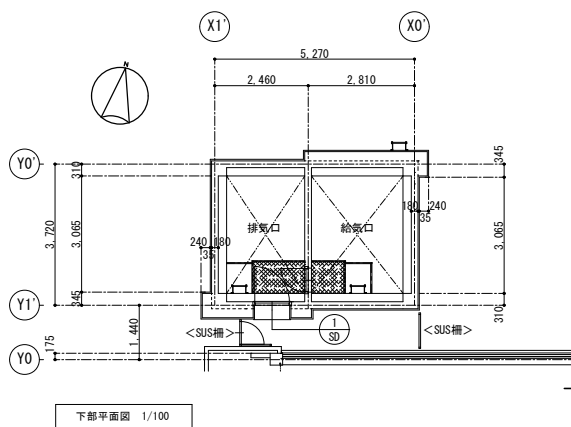
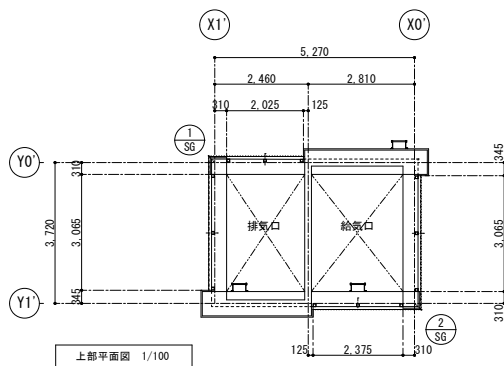
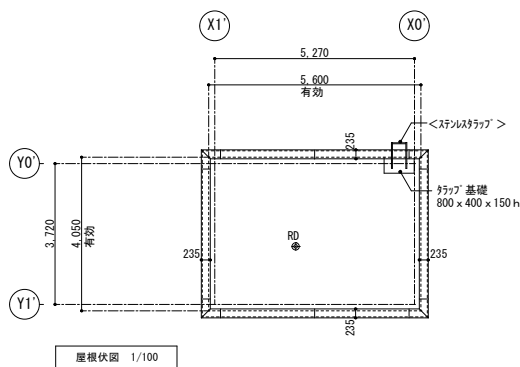


西側立面図 S: 1/50

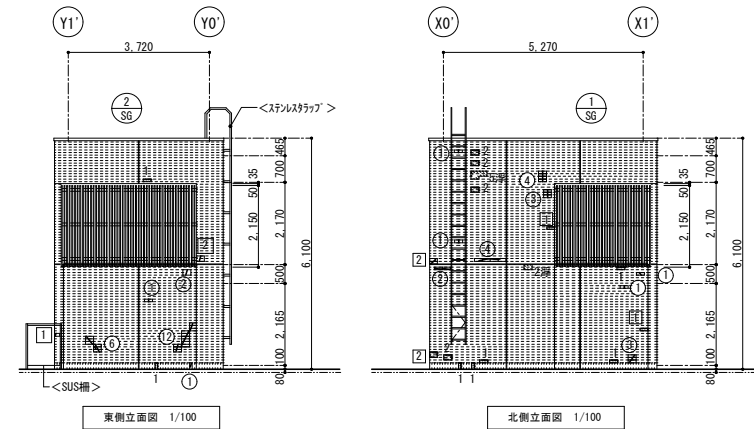
凡例		
ｼｰﾘﾝｸﾞ (MS-2)	15×10	撤去、新設
ｼｰﾘﾝｸﾞ (MS-2)	5×5	撤去、新設
ｼｰﾘﾝｸﾞ (SR-2)	5×5	撤去、新設

西11丁目駅1番出入口+EV出入口

主任設計者	主任技術者	担当者	作 図 年 月 日	工 事 名
			令和 2 年 1 月	



- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| ひび割れ | 25 枚 | ひび割れ | 34 枚 |
| ひび：曲り | 1 枚 | ひび：曲り | 3 枚 |
| 欠損：一般 | 2 枚 | 欠損：一般 | 4 枚 |
| 欠損：曲り | 3 枚 | 欠損：曲り | 3 枚 |
| 浮き：一般 | 1 枚 | 浮き：一般 | 1 枚 |



- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| ひび割れ | 22 枚 | ひび割れ | 20 枚 |
| ひび：曲り | 3 枚 | ひび：曲り | 2 枚 |
| 欠損：一般 | 2 枚 | 欠損：一般 | 13 枚 |
| 欠損：曲り | 1 枚 | 欠損：曲り | 4 枚 |
| 浮き：一般 | 1 枚 | 浮き：一般 | 7 枚 |

外壁：劣化部補修方法

集計	補修方法	
ひび割れ：一般部 101 枚	既存磁器質二丁掛タイル (60 x 227)	ひび割れ部下地躯体：ひび割れ補修なし
ひび割れ：曲がり 5 枚	ひび割れ・欠損・浮き部撤去の上 新設	
欠損部：一般部 21 枚	一般部 (㎡)	
欠損部：曲がり 10 枚	■ひび割れ部 101枚→ 1枚当り目地込み：0.07 x 0.23 = 0.016㎡	
浮き：一般部 7 枚	■欠損・浮き部 28枚→ (101+28) x 0.016 = 2.064㎡	
※補修ヶ所を再調査する事		
タイル改修部総面積：106㎡		
	■ひび割れ部 5枚→ 1枚当りL=0.07m	
	■欠損部 10枚→ (5+10) x 0.07 = 1.05m	

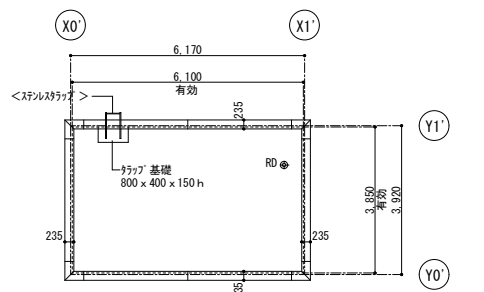
改修工事概要表

部位	改修内容
外壁	既存打込み磁器質二丁掛タイル ※外壁：劣化部補修方法による
打継・伸縮目地	既存シーリング15 x 10撤去の上 新設
ステンレス トラップ	本体既存のまま
S D	※建具表による
S G	※建具表による
屋上平面	既存アスファルト防水の上 カチオン t 30押え 防水層撤去、下地調整の上改質アスファルト防水 トラップ基礎：下地調整の上改質アスファルト防水
屋上立上	既存砂付露出アスファルト防水 既存防水層撤去、下地調整の上改質アスファルト防水 アルミ既製笠木 W235一時取外し、清掃・再取付
屋上 ルーフドレン	既存ストレーナー・防水押え撤去の上 改修用ルーフドレン新設、ドレン洗浄

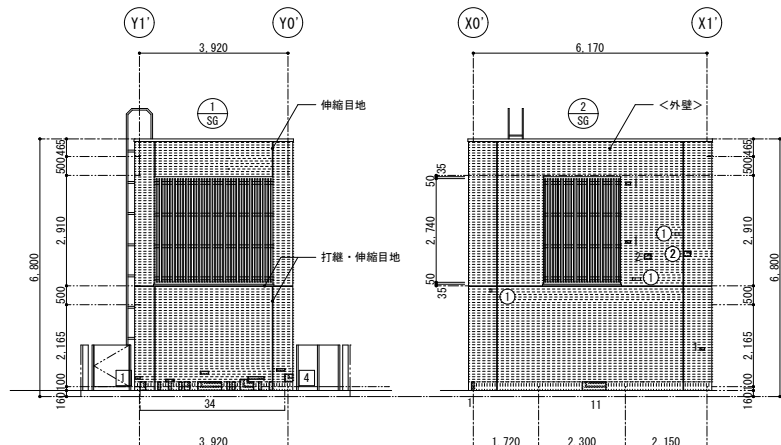
改質アスファルト防水仕様

部位	工法
平面	下地調整：樹脂セメントペースト塗 常温積層（2層）露出絶縁工法
立上	下地調整：樹脂セメントペースト塗 常温積層（2層）露出密着工法

環状通東駅換気塔A（1番出入口併設）

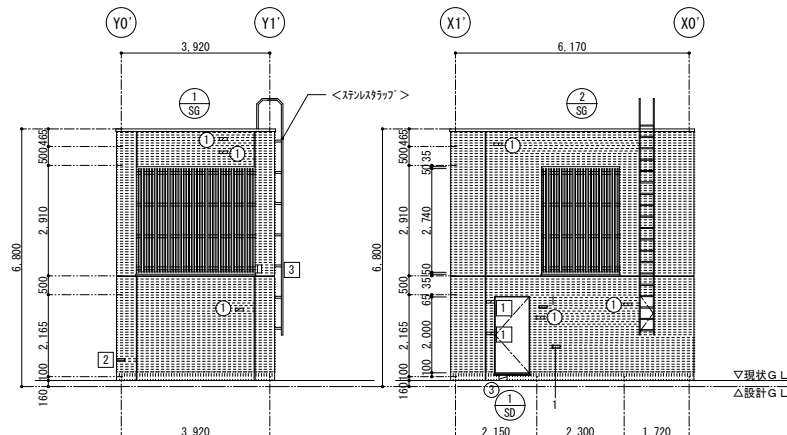


屋根伏図 1/100



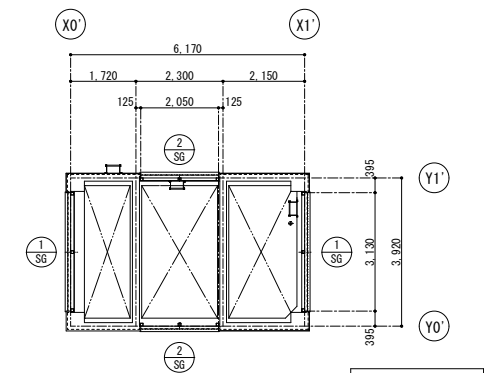
東側立面図 1/100

北側立面図 1/100

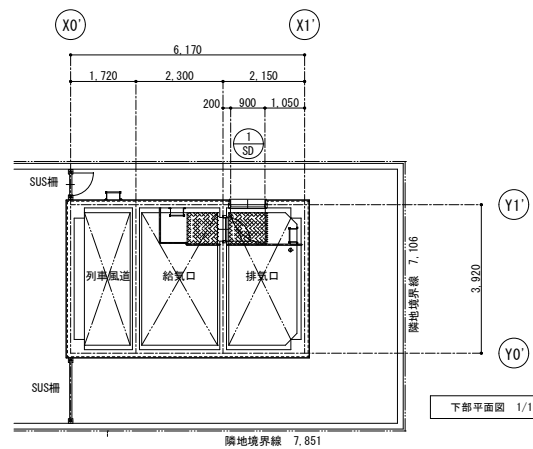


西側立面図 1/100

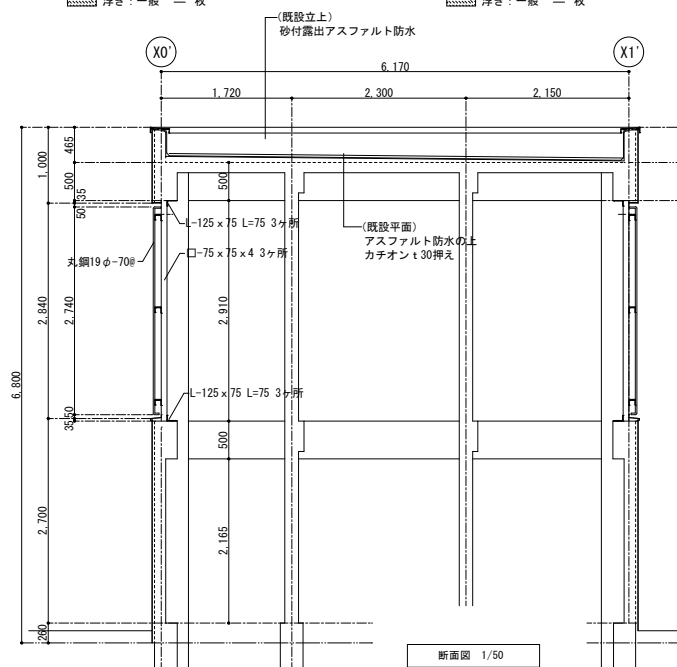
南側立面図 1/100



上部平面図 1/100



下部平面図 1/100



断面図 1/50

外壁：劣化部補修方法

集計	補修方法
ひび割れ：一般部 12 枚 ひび割れ：曲がり 5 枚 欠損部：一般部 54 枚 欠損部：曲がり 7 枚	既存磁器質二丁掛タイル (60 x 227) ひび割れ・欠損・浮き部撤去の上 新設 一般部 (㎡) ■ひび割れ部 12枚 1 枚当り目地込み：0.07 x 0.23 = 0.016㎡ ■欠損部 54枚 (12+54) x 0.016 = 1.056㎡ 曲がり部 (㎡) ■ひび割れ部 5枚 1 枚当りL=0.07m ■欠損部 7枚 (5+7) x 0.07 = 0.84m

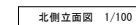
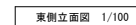
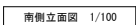
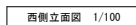
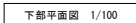
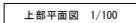
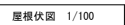
改修工事概要表

部位	改修内容
外壁	既存打込み磁器質二丁掛タイル ※外壁：劣化部補修方法による
打継・伸縮目地	既存シーリング15 x 10撤去の上 新設
ステンレス タラップ	本体既存のまま
S D	※建具表による
S G	※建具表による
屋上平面	既存アスファルト防水の上 カチオンt30押え 防水層撤去、下地調整の上改質アスファルト防水 タラップ基礎：下地調整の上改質アスファルト防水
屋上立上	既存砂付露出アスファルト防水 既存防水層撤去、下地調整の上改質アスファルト防水 アルミ既製笠木 W235=時取外し、清掃・再取付
崖上 ルーフトレン	既存ストレーナー・防水押え撤去の上 改修用ルーフトレン新設。ドレン洗浄

改質アスファルト防水仕様

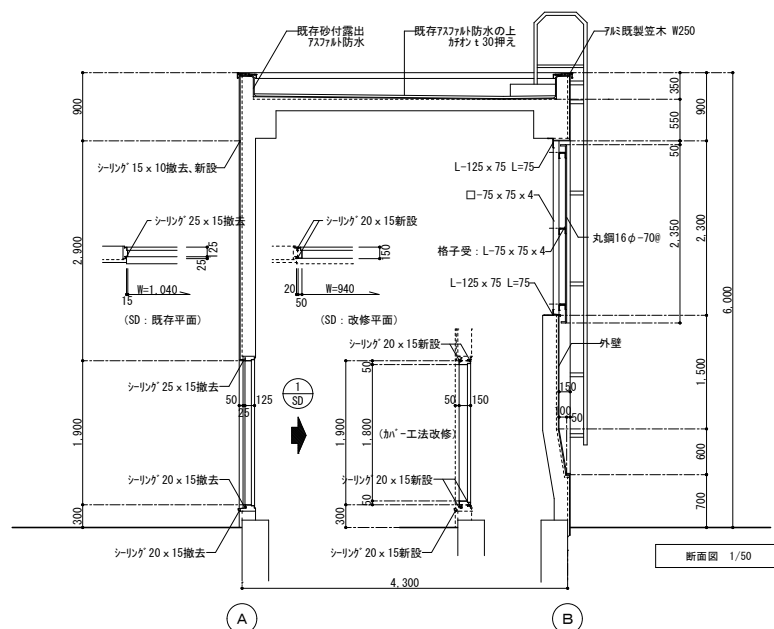
部位	工法
平面	下地調整：樹脂セメントペースト塗 常温積層（2層）露出絶縁工法
立上	下地調整：樹脂セメントペースト塗 常温積層（2層）露出密着工法

環状通東駅換気塔B（4番出入口併設）

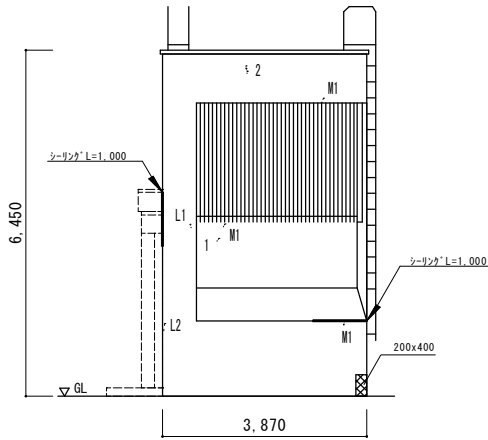
改修工事概要表

部位	改修内容
外壁	既存打込み磁器質二丁掛タイル ※外壁：劣化部補修方法による
伸縮目地	既存シーリング15×10撤去の上 新設
ステンレス トラップ	本体既存のまま
S D	※建具表による
S G	※建具表による
屋上平面	既存アスファルト防水の上 カチオン1030坪 既存カチオン・防水層撤去、下地調整の上改質アスファルト防水 トラップ基礎：既存モルタル撤去、下地調整の上改質アスファルト防
屋上立上	既存砂付露出アスファルト防水 既存防水層撤去、下地調整の上改質アスファルト防水 既存アルミ既製立木 W250一時取外し、清掃・再取付
屋上 ルーフトレン	既存ストレーナー・防水層撤去の上 改修用ルーフトレン新設、ドレン洗浄

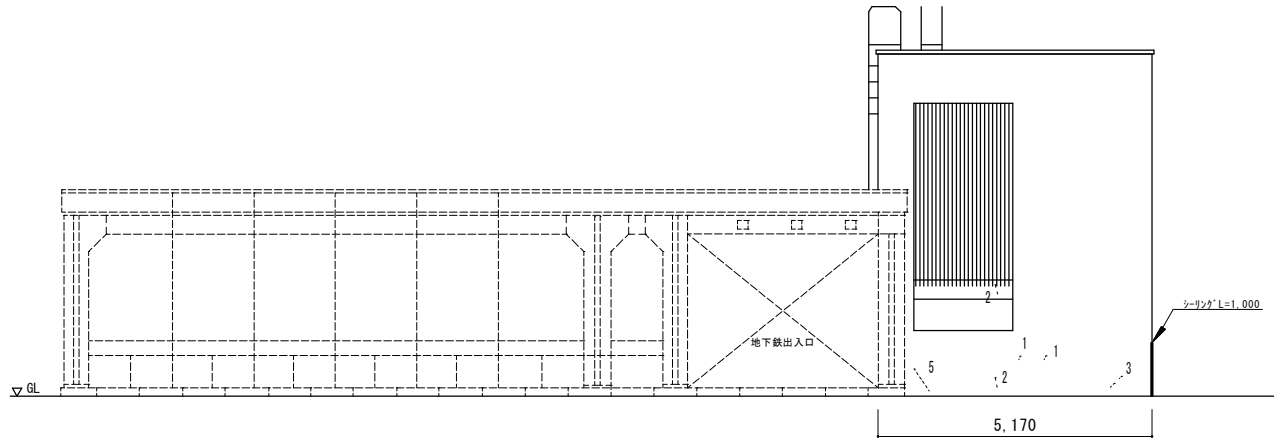
部位	工法
平面	下地調整：樹脂セメントペースト塗布 常温積層（２層）露出絶縁工法
立上	下地調整：樹脂セメントペースト塗布 常温積層（２層）露出密着工法



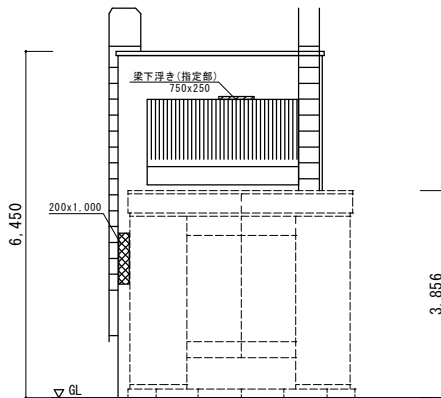
東区役所前駅換気塔A（1番出入口併設）



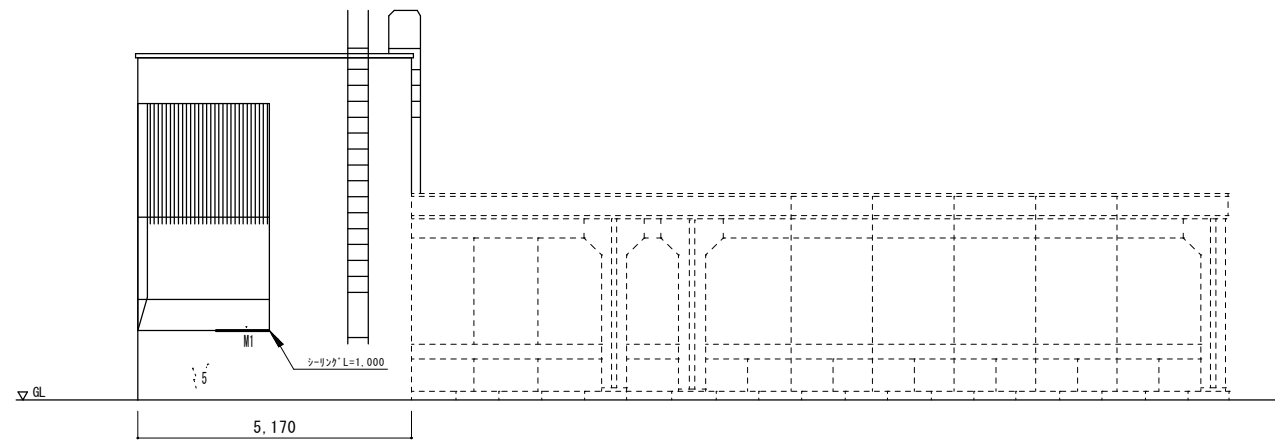
北 立面図



東 立面図



南 立面図



西 立面図

▲：シーリング 20x10撤去・新設を示す

凡 例	
	ひびわれ0.2mm未満 約2.3m 出入口付アンカージョイント部分15' 杉樹脂注入
添字はタイル枚数(L:標準曲, M:屏風曲) タイル寸法: 227x60(目地込み) ひびわれたタイルは撤去・張替とする (ひびわれ0.2mm以上は樹脂注入の上、張替え)	

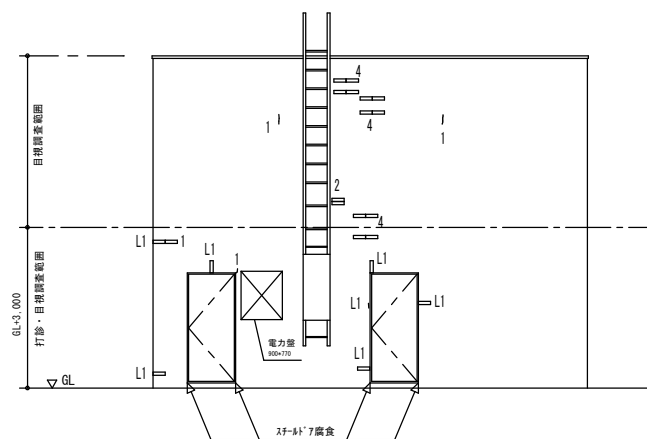
札幌市交通局高速電車部施設課

工 事 名

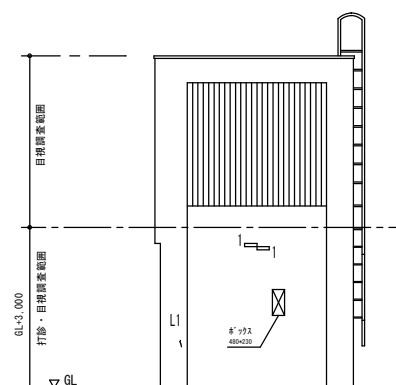
図 面 名 称

立面図【学園前駅換気塔A(1番出入口併設)

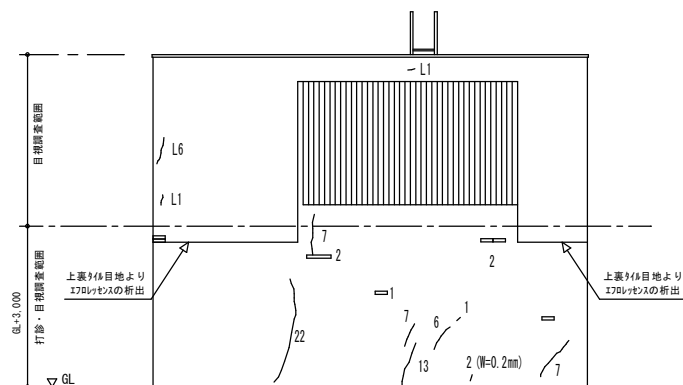
学園前駅換気塔A



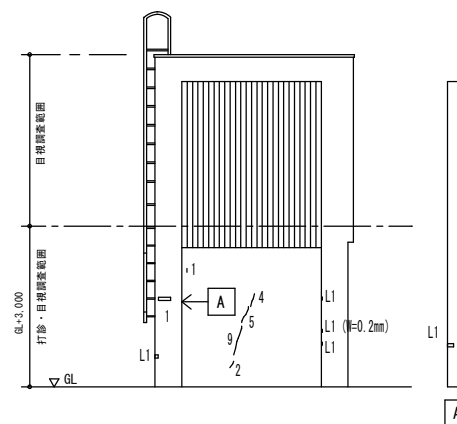
北 立面図



東 立面図



南 立面図



西 立面図

※ 添字はタイル枚数
※ L:標準曲、M:屏風曲を示す。

凡	例
	タイルひびわれ0.2mm未満
	タイルひびわれ0.2mm以上1.0mm未満
	タイル欠損
	タイル浮き
	補修箇所

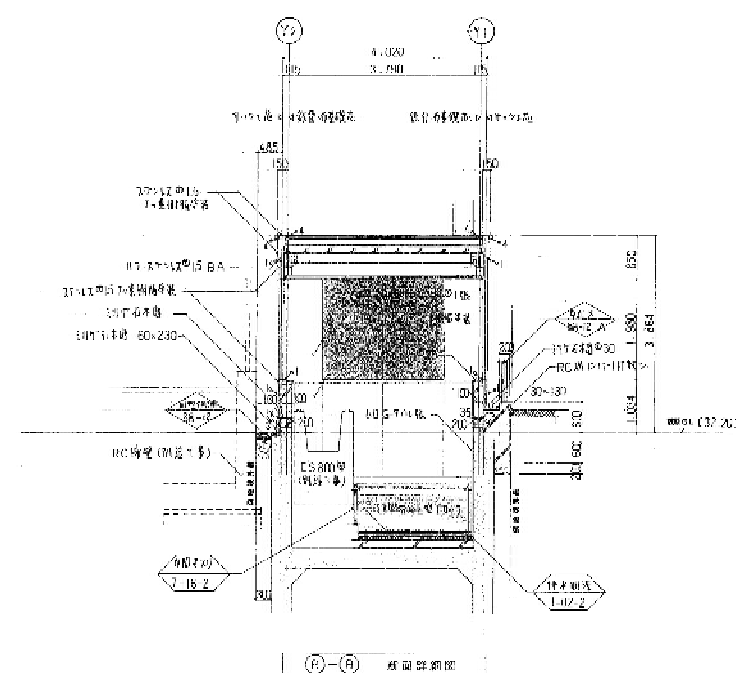
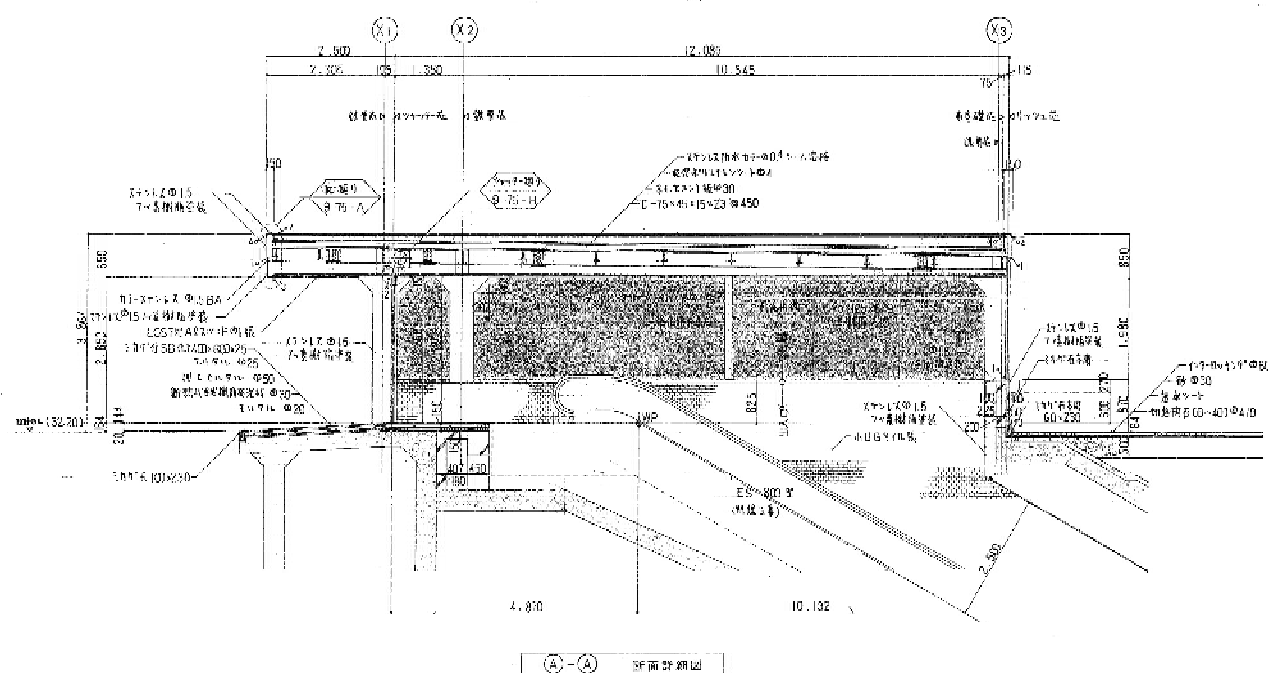
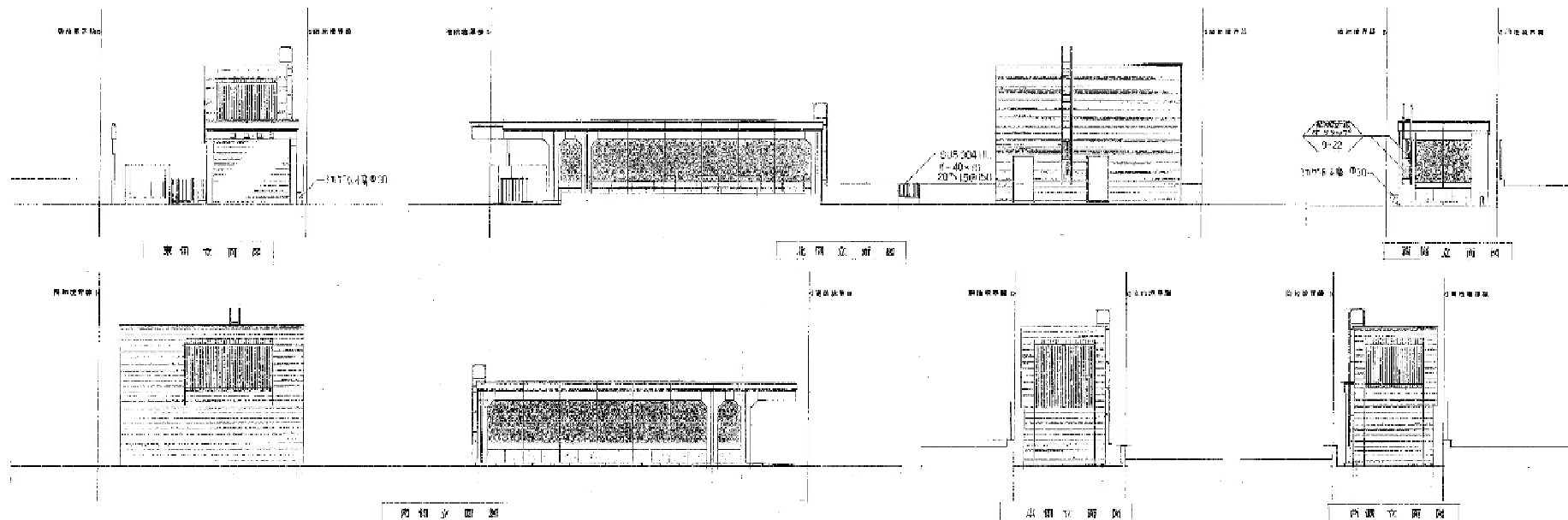
228×60mm/1枚（目地込み）

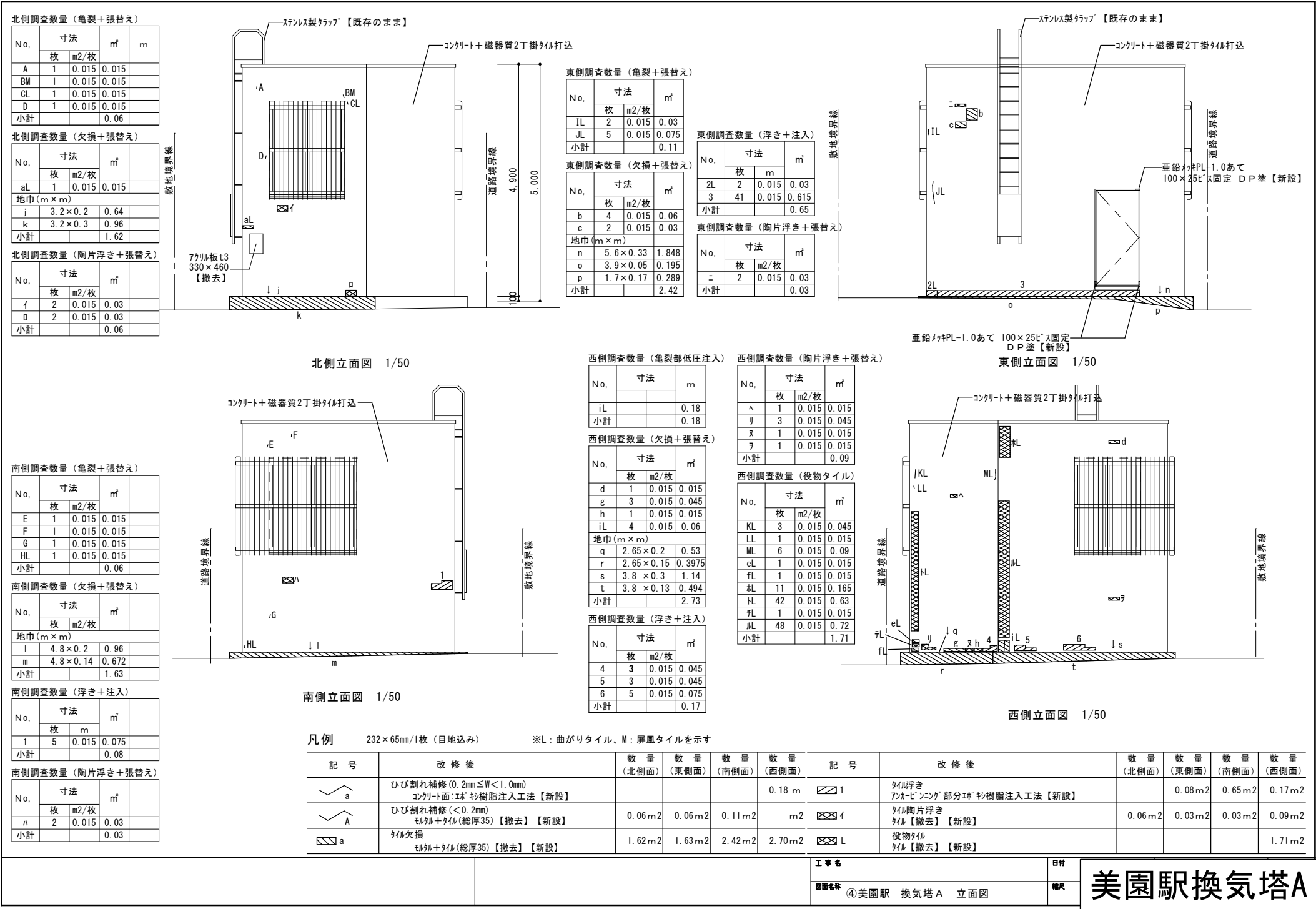
豊平公園駅換気塔A

委 託 名

図 面 名 称

図3.1 (3) 調査結果プロット図 (3 豊平公園駅換気塔B)





南側調査数量（亀裂＋張替え）

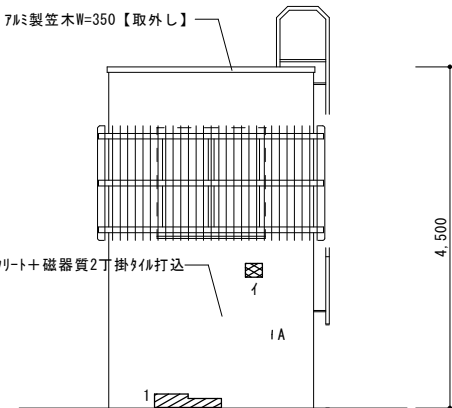
No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
A	1	0.015	0.015
小計			0.02

南側調査数量（浮き＋注入）

No.	寸法		㎡
	枚	m	
1	8	0.015	0.12
2	2	0.015	0.03
小計			0.15

南側調査数量（陶片浮き＋張替え）

No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
イ	3	0.015	0.045
小計			0.05



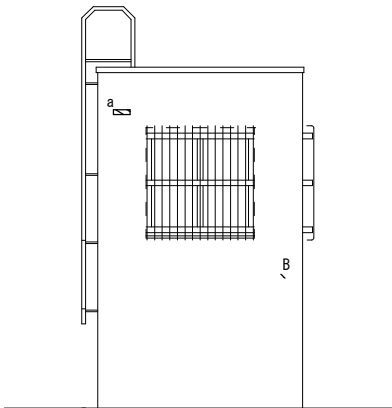
南側立面図 1/50

北側調査数量（亀裂＋張替え）

No.	寸法		㎡	m
	枚	m2/枚		
B	1	0.015	0.015	
小計			0.02	

北側調査数量（欠損＋張替え）

No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
a	1	0.015	0.015
小計			0.02



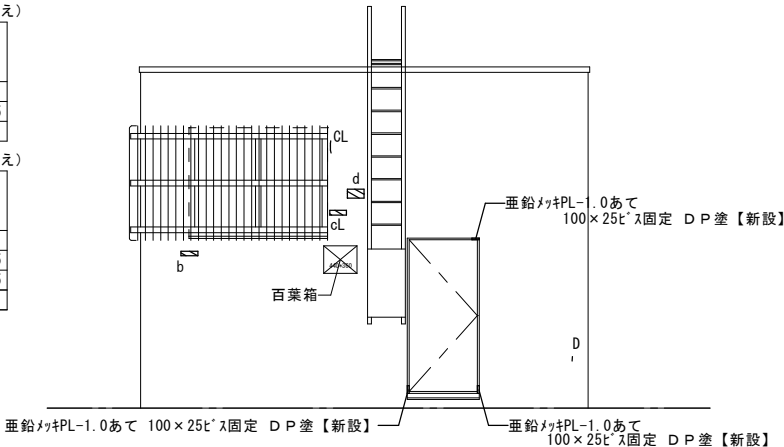
北側立面図 1/50

東側調査数量（亀裂＋張替え）

No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
CL	2	0.015	0.03
D	1	0.015	0.015
小計			0.05

東側調査数量（欠損＋張替え）

No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
b	2	0.015	0.03
cL	1	0.015	0.015
d	1	0.015	0.015
小計			0.06



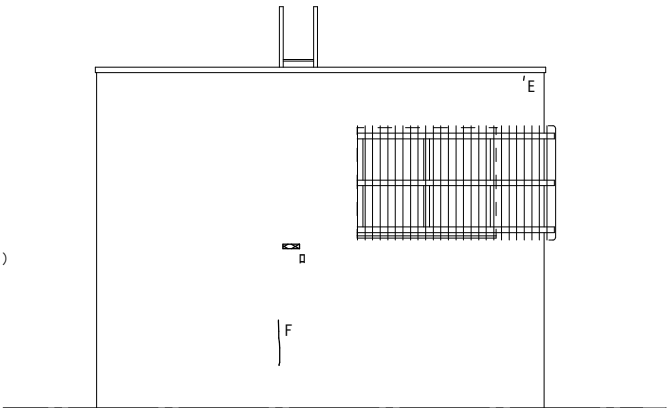
東側立面図 1/50

西側調査数量（亀裂＋張替え）

No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
E	1	0.015	0.015
F	9	0.015	0.135
小計			0.15

西側調査数量（陶片浮き＋張替え）

No.	寸法		㎡
	枚	m2/枚	
□	1	0.015	0.015
小計			0.02



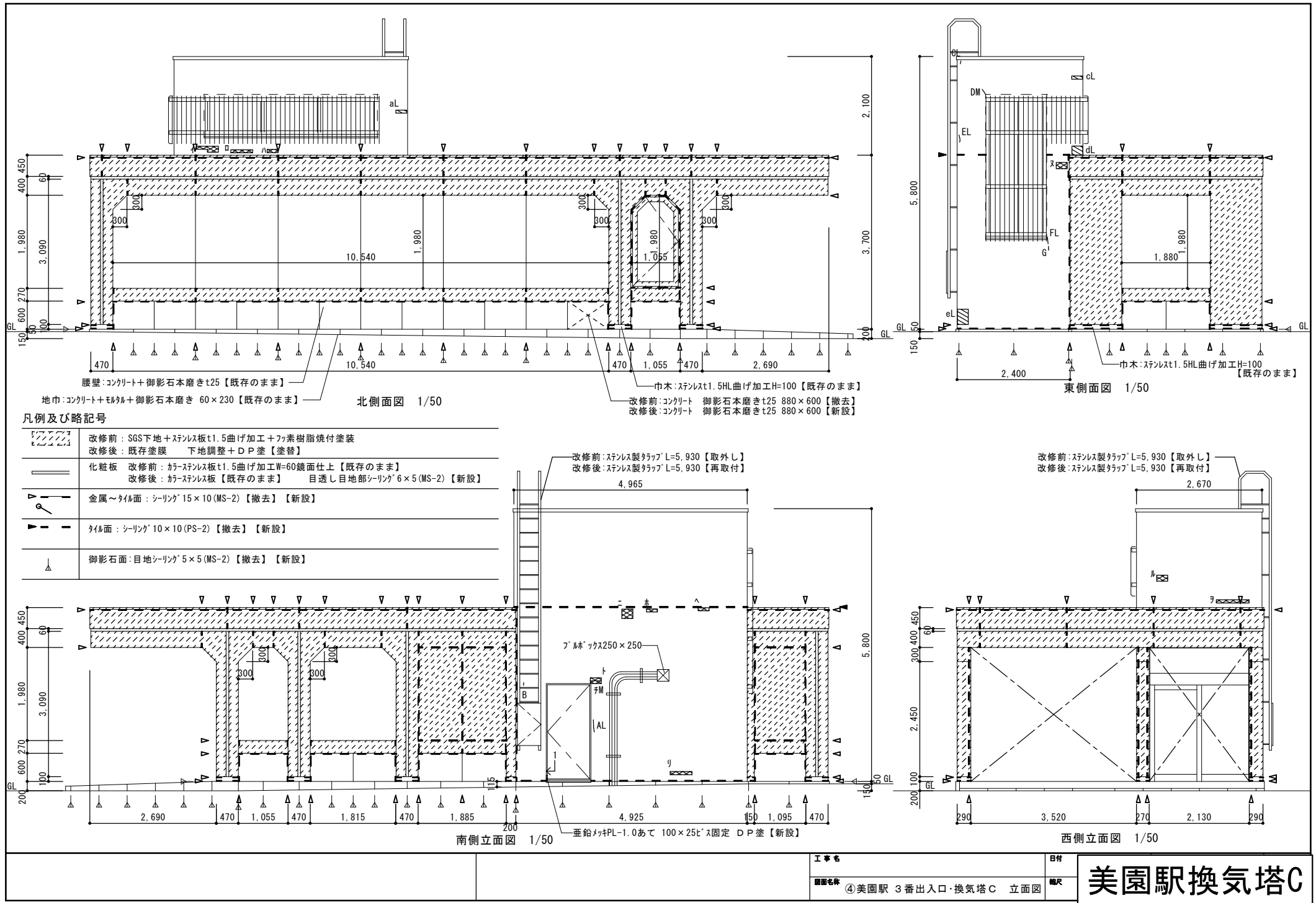
西側立面図 1/50

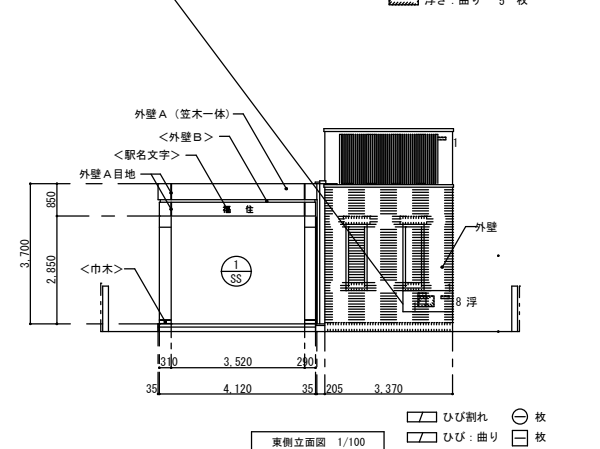
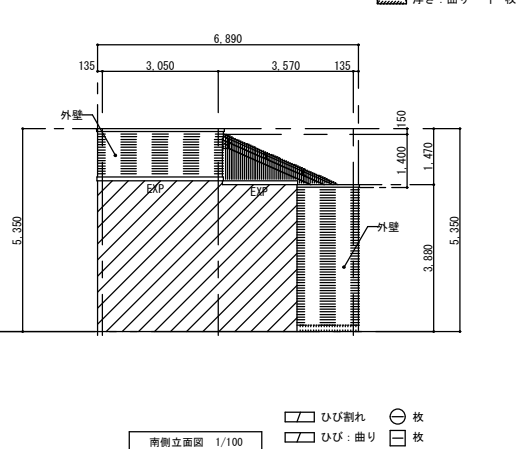
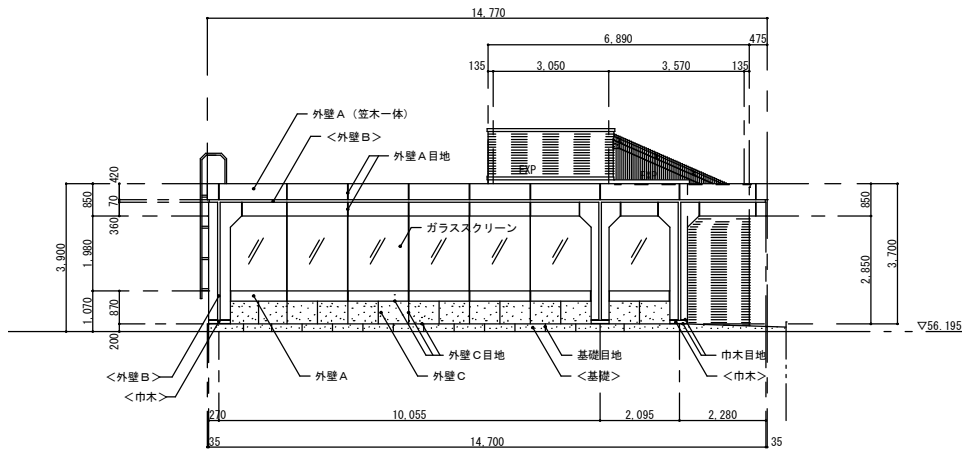
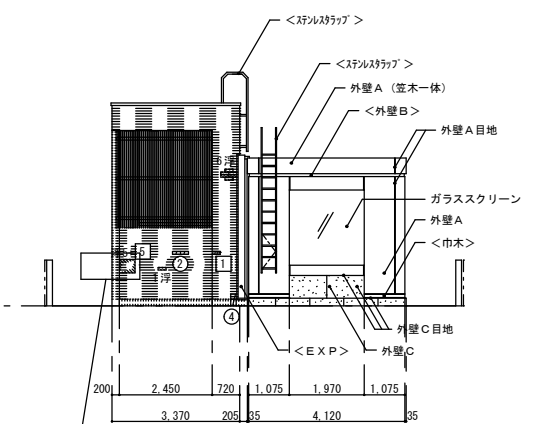
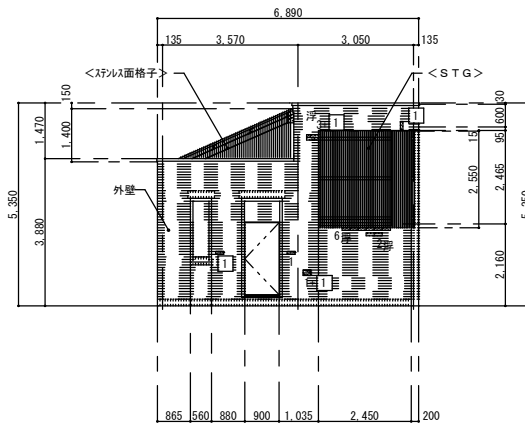
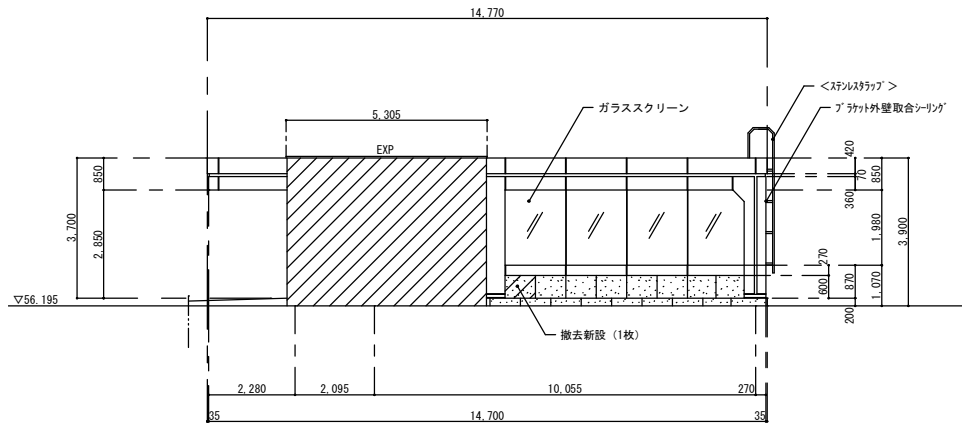
凡例 227×60mm/1枚（目地込み）

記号	改修後	数量 (南側面)	数量 (北側面)	数量 (東側面)	数量 (西側面)	記号	改修後	数量 (南側面)	数量 (北側面)	数量 (東側面)	数量 (西側面)
— A	ひび割れ補修(<0.2mm) モルタル+タイル(総厚35)【撤去】【新設】	0.02m2	0.02m2	0.05m2	0.15m2	1	タイル浮き アンカービニール部分に杉樹脂注入工法【新設】	0.15m2			
1 a	タイル欠損 モルタル+タイル(総厚35)【撤去】【新設】		0.02m2	0.06m2		1	タイル陶片浮き タイル【撤去】【新設】	0.05m2			0.02m2

工事名	日付
図面名称	欄尺
④美園駅 換気塔B 立面図	

美園駅換気塔B





補修方法
既存磁器質二丁掛タイル (60×227)
ひび割れ・欠損・浮き部撤去の上 新設
ひび割れ部下地躯体：ひび割れ補修
亀裂部エポキシ樹脂充填

福住駅換気塔A（1番出入口併設）